

## ワークショップ・有識者会議工程

名称	内容	工程	備考
第1回ワークショップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本構想等の説明</li> <li>・基本計画趣旨、WSでの検討課題の説明</li> <li>・計画策定スケジュールの説明</li> <li>・検討課題に関する意見集約</li> <li>・次回の開催について</li> </ul>	11月中旬 (11/18)	
アンケート調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内主要箇所にアンケート用紙・回収ボックスを設置</li> <li>・アンケートについて直接市民に聞き取る。</li> </ul>	11月中旬 ～ 12月上旬 (12/7)	
第2回ワークショップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回WS等意見集約結果の説明</li> <li>・計画素案の提示、説明</li> <li>・施設(ガイダンス施設、資料館棟など)の検討</li> <li>・展示内容の検討</li> <li>・公園の景観の検討</li> <li>・利用方法の検討</li> <li>・次回の開催について</li> </ul>	12月中旬 (12/16)	
第1回有識者会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1・2回WSの検討内容の説明</li> <li>・施設(ガイダンス施設、資料館棟など)の意見調整</li> <li>・展示内容の意見調整</li> <li>・公園の景観の意見調整</li> <li>・利用方法の意見調整</li> <li>・次回の開催について</li> </ul>	1月中旬	
第3回ワークショップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2回ワークショップ及び有識者会議の意見調整まとめ</li> <li>・古戦場公園再整備計画案の提示</li> <li>・計画案の意見調整</li> </ul>	1月下旬	
第2回有識者会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第3回WSの検討内容の説明</li> <li>・古戦場公園再整備計画案の検証</li> </ul>		
パブリックコメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・規定期間(1カ月間)に計画(案)を公開、意見の集約</li> </ul>	2月上旬 ～ 3月上旬	パブコメの事前(概要)説明会実施

# 古戦場公園再整備基本構想概要

## 基本コンセプト

《秀吉と家康が戦い、歴史が動いた。ここ長久手で。》

～古戦場をめくり、体感する。訪れてみたくなるフィールドミュージアム～

長久手の地域まるごと歴史博物館の形成を見据えた、古戦場公園の施設再整備構想

### ■基盤となる位置づけ

#### 「歴史の大舞台」

羽柴（のちの豊臣）秀吉と徳川家康が直接戦った「小牧・長久手の戦い」は、我が国の近世史の大きな出来事であり、長久手古戦場は1584年、この戦いの主戦場となった「**武士の歴史**」の舞台である。

#### 長久手の原風景「里山回廊」と農民の生活文化

- ・長久手古戦場周辺は、長湫、岩作、上郷、3つの地区の接点であり、香流川に代表される水辺空間とそれに沿った農地、里山、集落が、上記の「武士の歴史」の舞台となる原風景として残っていた。
- ・武士の歴史の影でそれを支えた「**農民の生活文化**」が、「警固祭り」「棒の手」などの祭り等として継承されている。

### ■今後付加されていく位置づけ（新たな都市拠点機能の配置）

#### 「リコモテラス」（十大規模商業施設）

観光に関する情報発信の場、大学をはじめとする連携の場、多くの人が集まるイベントの場

### ■古戦場公園再整備の基本コンセプト

#### 《シンボル・コアに「顔」をつくる》

～「古戦場の記憶」という、長久手ならではのアイデンティティを活かす～

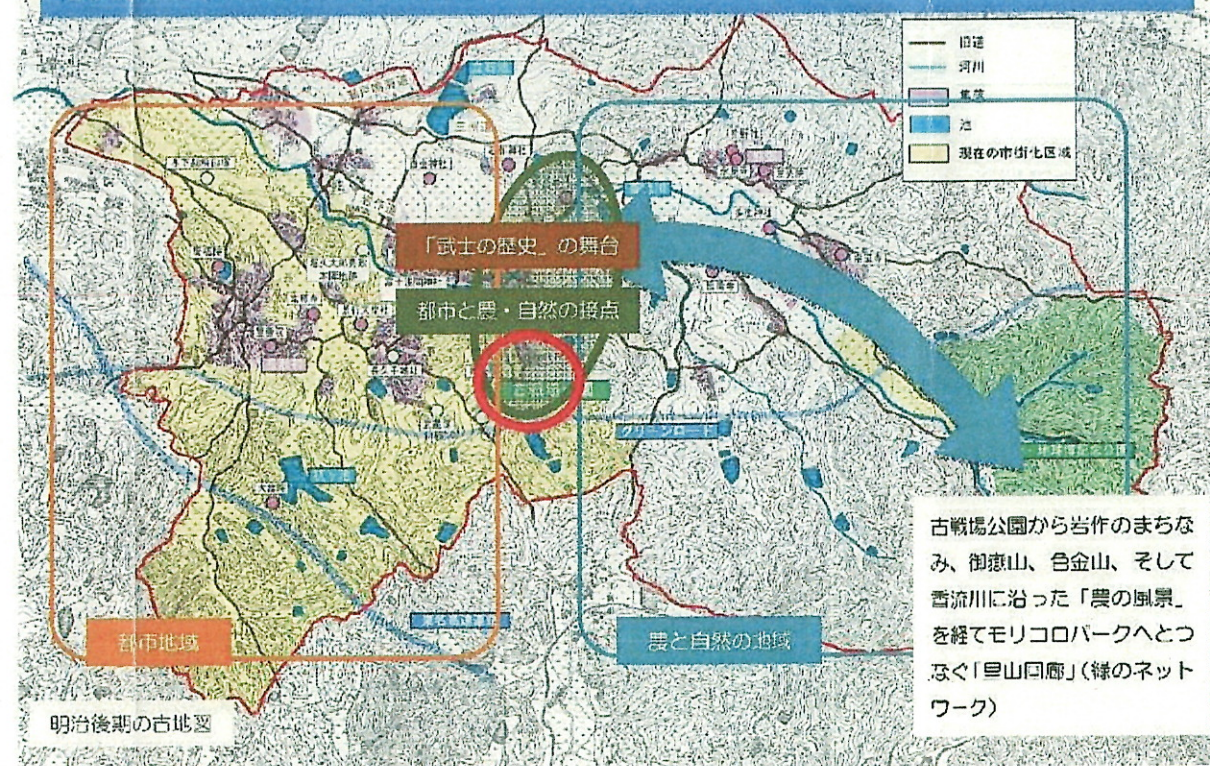
- ・「古戦場の歴史」「新たな都市文化の出会い」をテーマに。
- ・古戦場公園、リコモテラス、大規模商業施設等が連携して多くの市民が集まり活動し、地域情報を外部へ発信する地区を形成する。

### 長久手の「郷土の記憶」

「古戦場の史跡」プラス「地域一帯の田園風景」

岩作から上郷にかけての地域一帯の自然地形（里山と香流川）と農業集落の生活文化が総体となって「小牧・長久手の戦い」の記憶をしるしている。

長久手には、地域のいたるところに「古戦場の記憶」や「農民の生活文化」をたどる歴史の道がある。その玄関口にあたる古戦場公園を、フィールドミュージアムの拠点と位置づける。



#### 【フィールドミュージアムとは？】

「エコミュージアム」とも呼ばれる。歴史、文化、生活、自然など、地域の社会環境と自然環境の特色をまるごと現地で保存、育成、展示する博物館の形態であり、行政と住民が一緒に構想し、運営していくことにより、地域の歴史・文化・生活などを住民が自ら認識する場であるとともに、来訪者に地域のことを理解してもらうための場でもある。

（文部科学省資料「エコミュージアムについて」より抜粋・編集）

# 古戦場公園再整備基本構想概要

## 基本方針

～古戦場をめくり、体感する。訪れてみたくなるフィールドミュージアム～の基本方針を、以下のように整理する。

- 「歴史を知る・学ぶ」、「自然の中で憩う・遊ぶ」、「交流する」という3つの機能別の整備方針
- 「古戦場公園」の再整備の方針と、「関連する他の地区、施設」との連携の方針

方針	古戦場公園の再整備の方針	関連する他の地区、施設との連携の方針
3つの機能 1) 歴史を知る・学ぶ	<p><b>1. 郷土資料室のリニューアル（歴史資料の整理）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長久手合戦の歴史を知り、市内を巡って見たくなるような情報を伝える</li> <li>・長久手合戦の一日の時間の流れに沿った情報を伝える</li> <li>・古戦場の歴史をメインとし、その他郷土の歴史も伝える</li> </ul> <p><b>2. 公園のリニューアル</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・古戦場のイメージを伝えられる、できるだけシンプルな空間構成とする</li> <li>・長久手古戦場駅やグリーンロードなどからみた景観に配慮し、古戦場の歴史にふさわしいランドマークをつくる</li> <li>・古い家屋の活用や当時の素材、工法を用いるなど、歴史に配慮した施設とする</li> </ul> <p><b>3. 利用促進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当時を偲ばせる食や生活文化の体験ができる場をつくる</li> <li>・伝統的な祭やイベントの開催の場として活用する</li> </ul>	<p><b>1. 既存施設の連携</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長久手合戦にまつわる市内の他の史跡や、長久手の原風景を残す岩作集落などを巡る歴史散策ルートをつくる</li> <li>・犬山、小牧など「小牧・長久手の戦い」に関連する諸都市と連携する</li> <li>・姉妹都市ワテルローとの「古戦場の歴史・生活文化」をテーマとした国際交流を図る</li> </ul> <p><b>2. 歴史をキーワードにした連携</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民サークルや大学などとの連携により、歴史を学ぶ活動を多様に展開する</li> <li>・古戦場の歴史にちなんだみやげ物をつくる</li> <li>・古戦場公園の周辺地区全体として、古戦場の歴史にふさわしい景観をつくるよう連携を呼びかける（駅前広場、リニモテラス、大規模商業施設等）</li> </ul>
2) 自然の中で憩う・遊ぶ	<p><b>1. 歴史と自然が共存した公園</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然環境に配慮し、歴史と自然のバランスがとれた公園とする</li> </ul> <p><b>2. 日常でもイベント時でも楽しめる公園</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・さまざまな世代が緑のなかでピクニックするなど、憩うことができる公園とする</li> <li>・自然を愛でることができるイベント開催の場とする</li> </ul>	<p><b>1. 周辺の樹林地や公園、香流川と結ぶ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・色金山をはじめ、他の公園と結ぶ緑のネットワークをつくる</li> <li>・香流川との連携や香流川の緑道づくりなどによる里山回廊めぐりのルートをつくる</li> </ul> <p><b>2. 他の施設との連携</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他の公園などでの自然に親しむイベントとの連携</li> </ul>
3) 交流する	<p><b>1. イベントによる交流の場づくり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史、食べ物等に係るイベントの開催などにより、さまざまな世代が集い楽しめる場をつくる</li> </ul> <p><b>2. 施設での交流や体験の場づくり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・くど、囲炉裏を使う体験をはじめ、昔の「衣食住」に関する生活体験をするなど、お年寄りが子どもたちに伝統文化を伝えたり、楽しみながら交流できる場をつくる</li> </ul> <p><b>3. 市民参加によるリピーター、サポーターづくり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの市民が公園づくりや維持・管理、歴史体験の活動などに参加することにより、古戦場公園のリピーターやサポーターを増やす</li> </ul> <p><b>4. 自動車利用者への対応</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アクセス路や駐車場の整備により、訪れやすい公園とする</li> </ul>	<p><b>1. イベントによる交流と情報発信</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺での他のイベントと連携する</li> <li>・古戦場公園に関する情報を発信する</li> </ul> <p><b>2. 周辺施設等との連携</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大規模商業施設の買い物客に興味を持ってもらえる機会をつくる</li> <li>・駅前広場のイベントスペースと連携する</li> <li>・リニモテラスを活用し、交流事業や情報発信を行う</li> <li>・ござらっせ等を通じ、地域の農業や食と連携する</li> </ul> <p><b>3. 公共交通の利用促進の取り組みとの連携</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リニモの利用促進と古戦場公園の利用促進がタイアップしてアピールする</li> <li>・N-バスを活用し、誰でも歴史散策しやすい移動手段を確保する</li> </ul>

# 古戦場公園再整備基本構想概要

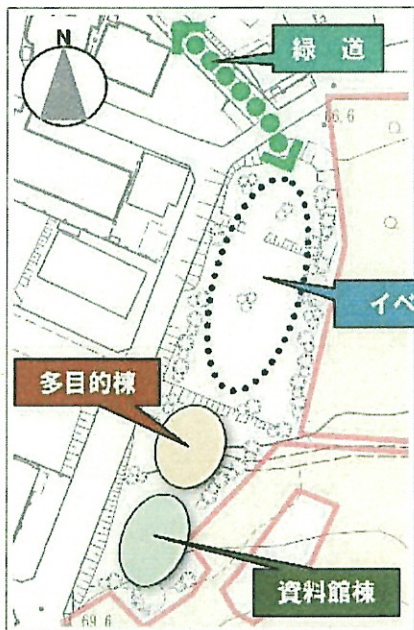
## ゾーンごとの再整備方針



# 古戦場公園再整備基本構想概要

## 機能配置と施設整備方針

### 西側ゾーンの機能配置と施設のイメージ案



**ゾーンの空間イメージ**

- ・周囲を木々で囲まれた落ち着いた空間とする
- ・建築物については、木造を基本とし、歴史を感じさせる素材や工法を用いた造りとする
- ・隣接する住宅地の環境に配慮する

歴史的な素材を用いた資料館施設の事例  
高井鴻山記念館（小布施）



高井鴻山記念館から北条亭まで続く「栗の小径」



**■資料館棟**

- ・収蔵品の展示などを通じて小牧・長久手の戦い、長久手合戦の歴史を知るための施設
- ・古窯や亜炭など古戦場以外の郷土資料の展示
- ・講演会などの開催スペース

**■多目的棟**

- ・資料館棟を補完し、小牧・長久手の戦い、長久手合戦と農民の生活文化の歴史を楽しみながら学べるセミナーやものづくりの体験ワークショップ等の開催スペース
- ・ミュージアムショップ機能
- ・カフェ機能 など

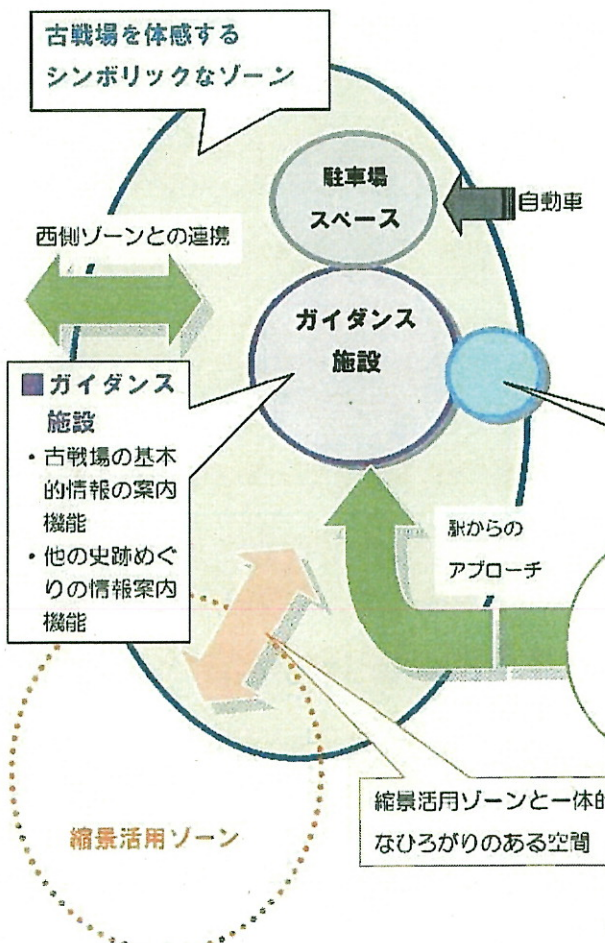
**■イベントスペース**

- ・小規模な交流イベント、体験ワークショップなどに利用

### 東側ゾーンの機能配置と施設のイメージ案

**ゾーンの空間イメージ**

- ・地形の起伏を活かし、古戦場を体感できる空間とする
- ・建築物があまり目立たない、シンプルな空間構成とする
- ・長久手古戦場駅などからみた公園の景観に配慮するとともに、古戦場公園周辺の地区全体として歴史的な風致にふさわしい景観をつくる
- ・やぐら、土塁、土塀、馬止柵、のぼりなど、合戦や武士の文化にちなむ素材を用いる



**■ガイダンス施設**

- ・古戦場の基本的情報の案内機能
- ・他の史跡めぐりの情報案内機能

地形の起伏を活かした半地下式の施設の事例  
新美南古記念館（半田）

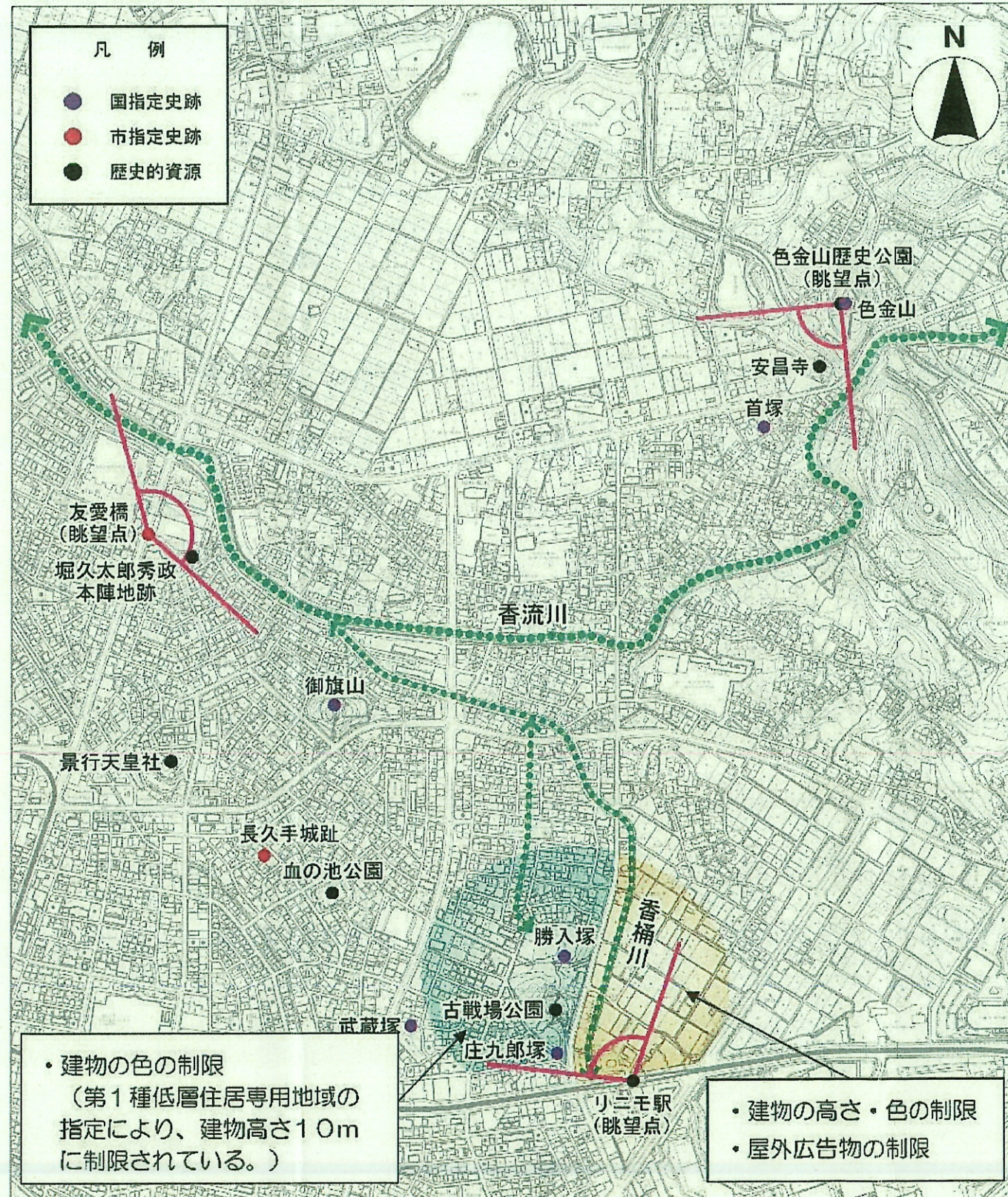


**ゾーンの空間イメージ**

- ・地形の起伏を活かし、古戦場を体感できる空間とする
- ・建築物があまり目立たない、シンプルな空間構成とする
- ・長久手古戦場駅などからみた公園の景観に配慮するとともに、古戦場公園周辺の地区全体として歴史的な風致にふさわしい景観をつくる
- ・やぐら、土塁、土塀、馬止柵、のぼりなど、合戦や武士の文化にちなむ素材を用いる

# 古戦場公園再整備基本構想概要

## 古戦場公園周辺のネットワークのあり方



## 基本計画の趣旨

- ・基本構想の成果(理念・景観・ゾーニング・導入施設等)をベースとし、市民のアイデアを結集し、日本の歴史公園100選にふさわしい魅力的な

古戦場公園を再整備する。

- ・市内各地区の歴史・景観資源を活かし、市内フィールドミュージアム化を行うことにより、他都市との交流や観光振興を推進すると共に、楽しく、生きがいのある市民生活を創造する。

### 1. 公園計画

- ・景観、施設配置、動線、駐車場、駅前地区との役割分担、利用メニュー

### 2. 建築計画(資料館棟、多目的施設棟、ガイダンス施設棟)

- ・既存施設の取り扱い、建替え、必要機能
- ・展示施設計画—歴史・民俗展示の魅力化、体験型展示

### 3. フィールドミュージアム

- ・市内のフィールドミュージアムを整備
- ・市の観光振興、他都市との交流の推進

### 4. 整備後の運営の検討